



JSPA
Japan Sport Association

女性スポーツ委員会 アクションプラン2023-2027

2023年8月28日
女性スポーツ委員会

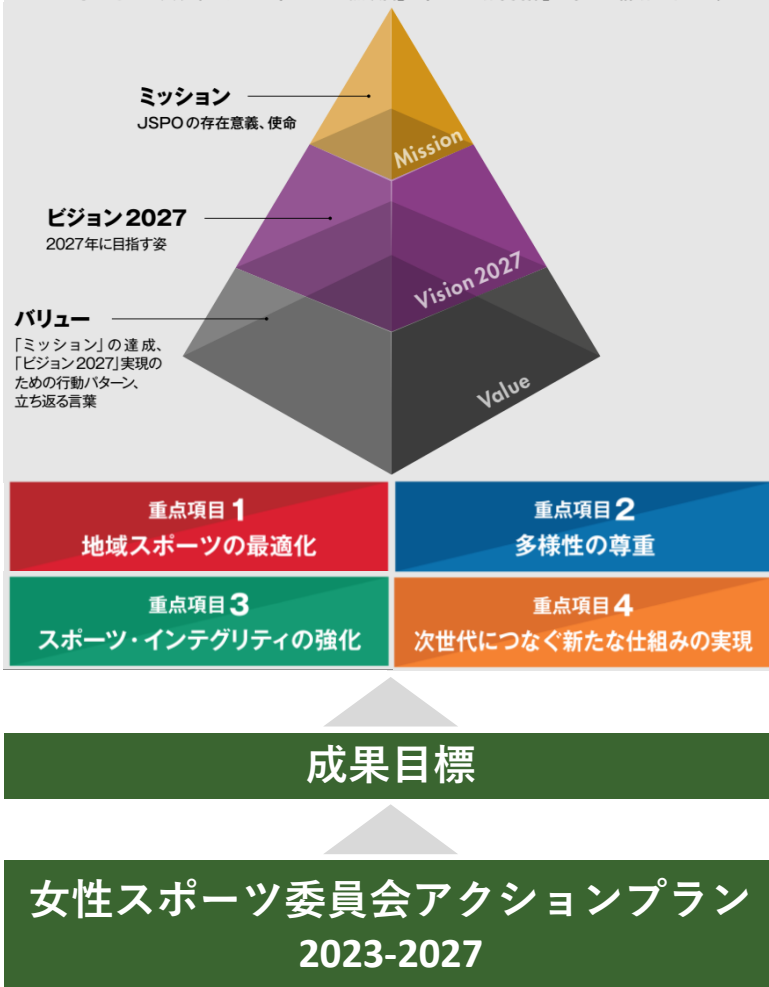
アクションプラン策定に当たって



JSPA
Japan Sport Association

JSPA 中期計画 2023-2027 全体像

「JSPA 中期計画 2023-2027」は、JSPA の「ミッション」、「ビジョン 2027」、「バリュー」に基づき、これらを実現するための「4つの重点項目」と「32の成果目標」を中心に構成しています。



JSPAは「スポーツと、望む未来へ～スポーツの力で、人も社会も元気になる仕組みを」とともに「つくる～」をミッションとして、「JSPA中期計画2023-2027」を新たに策定しました。

世界は驚異的なスピードで変化しており、私たちは日々、新たな社会課題に直面しています。少子高齢化やこれに伴う人口減少など、様々な社会課題により、もしかすると少し先の未来では、みんなが今までのようにスポーツを楽しめる社会ではなくなってしまうかもしれません。

それでもJSPAは、様々な社会課題を乗り越え、世界の変化に適応しながら、『だれでも、だれとでも』『いつでも、いつまでも』『自分らしく』スポーツを楽しめる社会を実現したいという思いを、ビジョン2027として親しみやすいフレーズで表現しました。また、ビジョン2027達成のために、今なすべきこととして4つの重点項目を掲げました。

女性スポーツ委員会では、女性のスポーツ環境の改善に取り組んできましたが、女性のスポーツ実施率や観戦率、スポーツボランティア実施率は男性に比べて依然として低く、極端な痩せに伴う骨粗しょう症や産前・産後の心身の健康悪化等の運動不足による健康問題が顕在化しています。

これらの課題を踏まえ、女性スポーツ委員会では重点項目2「多様性の尊重」に寄与する成果目標2つを設定しました。

そして、成果目標達成のため、2027年までの具体的なアクションをまとめました。

女性スポーツ委員会は「SPORT HAPPINESS FOR WOMEN」をキーワードとしてアクションを実行し、『だれでも、だれとでも』『いつでも、いつまでも』『自分らしく』スポーツを楽しめる社会の実現を目指します。

JSPO中期計画（2023-2027）成果目標



JSPO
Japan Sport Association

成果目標

女性のスポーツ実施率や観戦率、スポーツボランティア実施率は、男性と比較して未だ低い現状にあります。
そこでJSPOは、女性スポーツに関する研修会を充実することにより、女性のスポーツに関する活動環境の改善を目指します。

女性の活躍を推進する機運が高まる一方、スポーツ団体における女性役員の割合は依然低い数値にとどまっています。
そこでJSPOは、女性役員の育成・登用に向けた課題や好事例などに関する情報発信・共有の場を新たに設けることにより、女性役員登用数を増加し、誰もが自分らしくスポーツを楽しめる社会の形成に寄与します。

到達目標

研修会ほか
イベント等への
参加者数を
2027年度までに
累計3,800人以上

女性役員の育成・
登用に向けた情報
発信・共有の機会
を2023～2027年の
間で5回

成果目標達成のためのアクション①



成果目標：

女性のスポーツ実施率や観戦率、スポーツボランティア実施率は、男性と比較して未だ低い現状にあります。そこでJSPOは、女性スポーツに関する研修会を充実することにより、女性のスポーツに関する活動環境の改善を目指します。

到達目標：
研修会ほか
イベント等への
参加者数を
2027年度まで
に累計3,800人
以上

①女性スポーツサポート研修会（ハンドブック）の内容の見直し

「女性スポーツ促進に向けたスポーツ指導者ハンドブック」(2019年作成)を最新情報に更新するなど、内容を見直す。また、更新版ハンドブックを活用し、女性スポーツサポート研修会の内容も見直すことで、受講する指導者等に対して、より一層有益な情報を発信する。

②女性スポーツサポート研修会の受講機会の増加

スポーツ関係団体と連携し、更新研修対象に認定いただく等、当該研修会への受講者のリーチを増やす。

③啓発セミナーの実施

テストケースを実施した企業向けの女性スポーツ啓発セミナーを事業化する。

成果目標達成のためのアクション②



JSPO
Japan Sport Association

成果目標：

女性の活躍を推進する機運が高まる一方、スポーツ団体における女性役員の割合は依然低い数値にとどまっています。そこでJSPOは、女性役員の育成・登用に向けた課題や好事例などに関する情報発信・共有の場を新たに設けることにより、女性役員登用数を増加し、誰もが自分らしくスポーツを楽しめる社会の形成に寄与します。

到達目標：
女性役員の
育成・登用に
向けた
情報発信・共有
の機会を
2023～2027年
の間で5回

①女性役員の育成・登用に向けた情報収集

加盟団体を中心に、スポーツ団体における女性役員割合のモニタリングを実施する。また、女性役員登用に関する課題や好事例の情報収集を行う。

②女性役員の育成・登用に関する情報発信を行う

SNSや情報誌を通じて、収集した情報を加盟団体やスポーツ団体、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団等宛に発信し、共有する。

③女性役員の育成・登用に関する情報交換・発信の場を創出する

加盟団体の女性役員の育成・登用に関する情報交換・共有、ネットワーク構築のためのイベントを検討の上、開催する。

④女性役員の育成・登用に関する情報発信・交換・共有の効果を検証し、取組に活用する

アンケート調査等を実施し、女性役員登用への効果を検証する。

ロードマップ



		2023	2024	2025	2026	2027
アクション①	①女性スポーツサポート研修会（ハンドブック）の内容の見直し	情報収集	WG設置・内容見直し	作製		
	②女性スポーツサポート研修会の受講機会の増加	ニーズ調査・依頼（随時）				
	③啓発セミナーの実施	設計	テスト	実施		
アクション②	①女性役員の育成・登用にに向けた情報収集	情報収集（随時）				
	②女性役員の育成・登用に関する情報発信を行う	発信（随時）				
	③女性役員の育成・登用に関する情報交換・発信の場を創出する	開催	開催	開催	開催	開催
	④女性役員の育成・登用に関する情報発信・交換・共有の効果を検証し、取組に活用する	検証	検証	検証	検証	検証

その他の取組、他委員会・部署との連携（1）



成果目標達成のためのアクション以外にも以下の事項に取り組む。

「スポハピ」ロゴ・マークの普及

- ロゴ・マークの露出を増やすことで、スポーツのイメージ向上をはかる

【ブランドロゴ】

SPORT
HAPPINESS
FOR WOMEN

【ブランドマーク】



その他の取組、他委員会・部署との連携（2）



運動部活動の地域移行・地域連携をはじめ、女性スポーツの推進にも関わる様々な社会課題への対応が求められていることを背景に、各担当部署が所管する委員会が中心となり実行する取り組みに対して、女性スポーツ委員会から提言・要望などを行う。

誰もが安全・安心にスポーツを楽しむことができる環境の構築＜スポーツ科学研究室＞

- ・ アクティブチャイルドプログラム（JSPO-ACP）、多様な性のあり方、暴力や虐待、差別などの防止、アンチ・ドーピングに関する研究や実践に取り組み、その成果を広く普及する

資質能力を備えた公認スポーツ指導者の養成＜指導者育成課＞

(1)新規受講者の増加

- ・ 幼稚園教員・保育士、スポーツ少年団の育成母集団、中学校保護者等を対象に、各関連団体等と連携し、アクティブ・チャイルド・プログラム（JSPO-ACP）の普及などと併せて、スポーツを支える活動への興味・関心を促進
- ・ 女性コーチがスポーツ活動において必要とされているということ「見える化」する取組（調査等の実施）
- ・ 女性コーチを増やすための計画をNFに調査

(2)更新者の増加

- ・ 女性コーチが求めるサポート内容に関するニーズ調査（有資格者対象）

女性役員の拡充、女子団員の拡充＜少年団課＞（日本スポーツ少年団第11次育成5か年計画 アクションプラン2023-2027）

- ・ 日本スポーツ少年団常任委員（学識経験者）の候補者選任基準および定員に占める女性候補者人数について新たに定める
- ・ 性別や障がいの有無にかかわらず、子どもたちが多種多様な運動（遊び）や複数のスポーツ、社会課題等に触れることができるように活動プログラムを開発し紹介する

男女共同参画に向けた取組の促進＜クラブ育成課＞（総合型地域スポーツクラブ育成プラン2023-2027）

SC全国ネットワーク各都道府県代表委員の50%が女性となることを目標とする

- ・ 都道府県協議会役員に対する男女共同参画に関する啓発事業を実施する
- ・ 女性のリーダーや運営スタッフ育成のため、女性の会議への出席機会の創出や研修会を実施する
- ・ クオータ制の導入について検討する

女子種別の充実＜国スポ課＞

- ・ 実施競技選定において、女性スポーツに関する評価項目を設けるなど国民スポーツ大会における女子種別の充実に向けた取組を促進する

日本スポーツマスターズ実施競技の種別等見直し＜プロモーション課＞（日本スポーツマスターズ戦略プラン2023-2027）

- ・ 日本スポーツマスターズにおいて女子種別実施競技を増やす